

令和7年12月9日
課名 土木建築局建設産業課
担当者 課長 田中
内線 3820

低入札価格調査制度の改正後の運用状況等について

1 要旨・目的

令和7年6月の低入札価格調査制度の調査基準価格の下限値引上げ等から概ね半年経過したため、改正後の状況等について報告する。

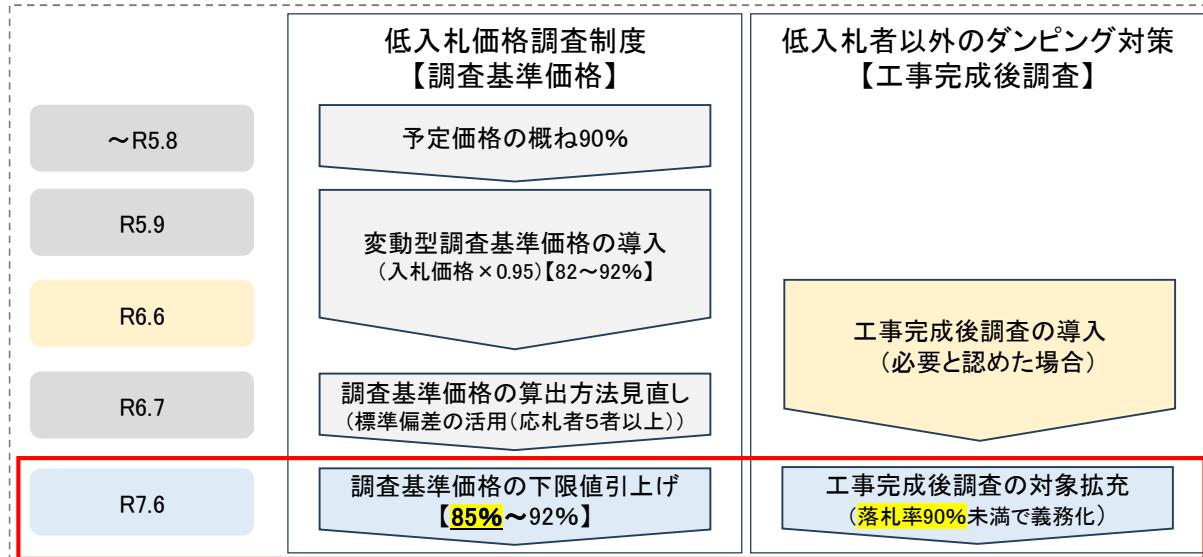
2 現状・背景

実行予算を踏まえた入札を促進するため、令和5年9月から、低入札価格調査制度において入札価格により調査基準価格が変動する仕組を取り入れている。

令和7年6月から、適切な利益を確保できる競争環境を整備することにより、処遇改善等に向けた建設事業者の取組を促進するため、調査基準価格の下限値引上げを行った。

また、これと合わせて、建設工事において、ダンピング対策の強化のため、落札率90%未満の場合の完成後調査を義務化した。

《ダンピング対策の経緯》



3 概要

(1) 調査対象

土木建築局及び農林水産局発注の建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務

(2) 調査期間

令和7年6月1日～令和7年11月21日

(調査基準価格の下限値引上げ等を行う前と落札率等を比較)

(3) 調査結果（令和7年11月21日時点速報値）※詳細は別紙参照

ア 落札率等の状況（土木建築局・農林水産局）

《建設工事》

(単位：%)

	変動型以前	変動型		
	R5(～8)	導入	算定方法見直し	下限引上げ
		R5.9～R6.7.15	R6.7.16～R7.5.31	R7.6.1～
落札率(平均)	93.2	92.4	92.6	92.7
調査基準価格比率(平均)	89.8	88.1	88.4	89.0
くじ引き発生率	34.2	7.1	1.7	2.7
低価格入札者との契約の発生率	0.2	0.9	2.0	1.9

《測量建設コンサルタント等業務》

(単位：%)

	変動型以前	変動型		
	R5(～8)	導入	算定方法見直し	下限引上げ
		R5.9～R6.7.15	R6.7.16～R7.5.31	R7.6.1～
落札率(平均)	89.9	90.4	88.8	88.8
調査基準価格比率(平均)	89.3	88.9	87.4	87.9
くじ引き発生率	57.4	37.8	28.7	43.0
低価格入札者との契約の発生率	0.2	0.7	0.7	0.6

イ 落札率分布

《建設工事》

(単位：%)

	R5(～8)	R5.9～R6.7.15	R6.7.16～R7.5.31	R7.6.1～
95 以上	36	40	37	30
92～95	3	9	12	17
90～92	3	7	13	16
88～90	58	21	19	26
85～88	—	9	14	11
85 未満	—	14	5	—

《測量建設コンサルタント等業務》

(単位：%)

	R5(～8)	R5.9～R6.7.15	R6.7.16～R7.5.31	R7.6.1～
95 以上	4	9	6	4
92～95	4	7	8	4
90～92	1	10	6	11
88～90	87	37	51	47
85～88	4	6	6	34
85 未満	—	31	23	—

(4) 状況分析

ア 建設工事

全体の落札率等は横ばいだが、下限値引上げ後は、落札率 85%未満の落札が皆減し 90%前後の落札が増加するとともに、これまで以上に落札率の分散が進んでいる。

イ 測量・建設コンサルタント等業務

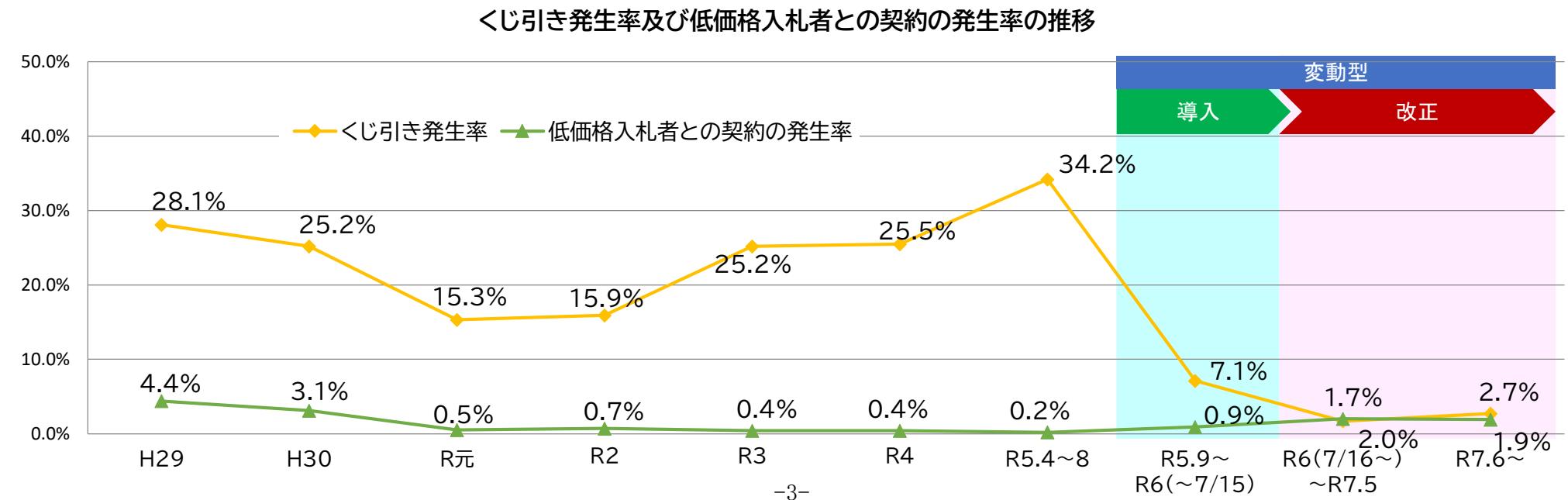
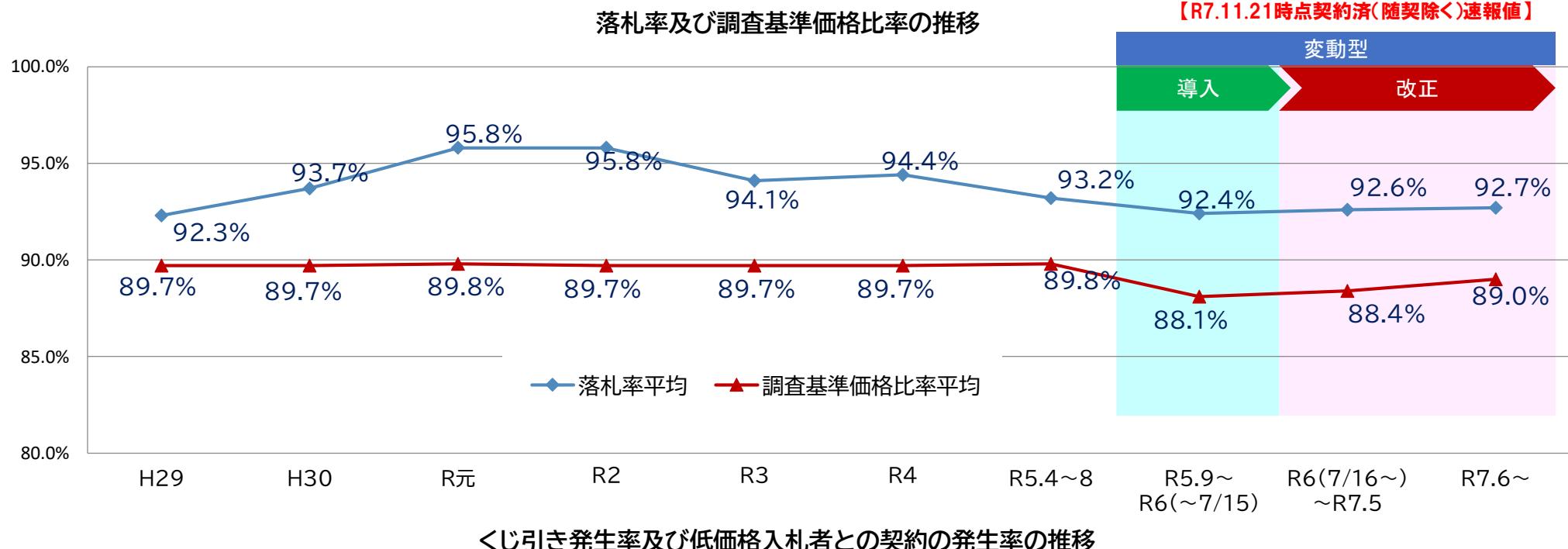
全体の落札率等は横ばいだが、下限値引上げ後は、落札率が 85%未満の落札は皆減し、85～88%の落札が増加。落札率 88%以上の分布に大きな変化はなし。

(5) 今後の対応

引き続き入札動向等を注視し課題を分析したうえで、必要な場合は見直しを検討。

【建設工事】落札率等の推移(土木、農林発注分)

別紙



【建設工事】落札率分布の推移(土木、農林発注分)

変動型導入前

【 R5 改正前】
(489件/93.2%)

変動型(導入)

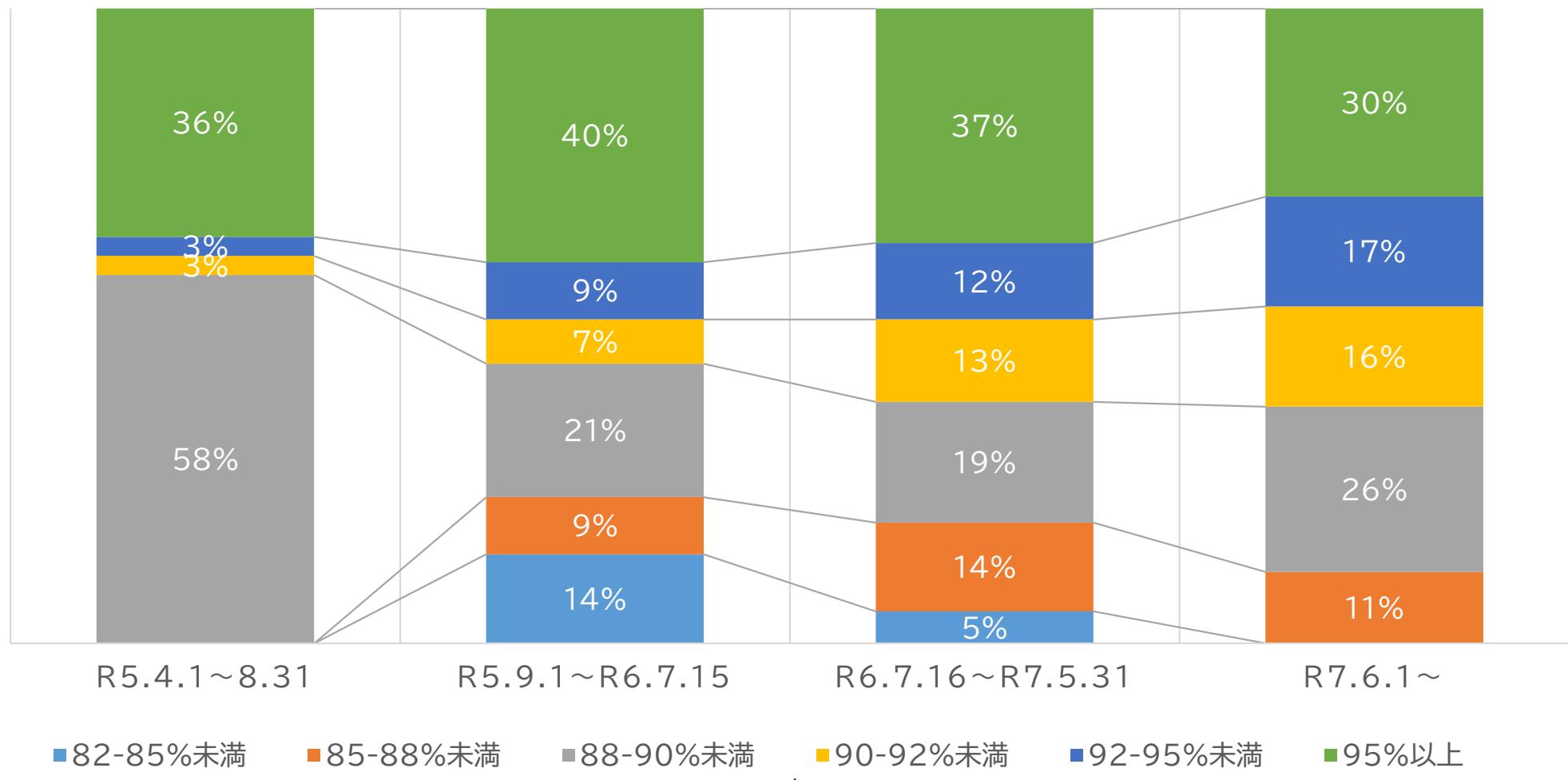
【 R5 改正後
～R6.7.15開札】
(737件/92.4%)

変動型(見直し)

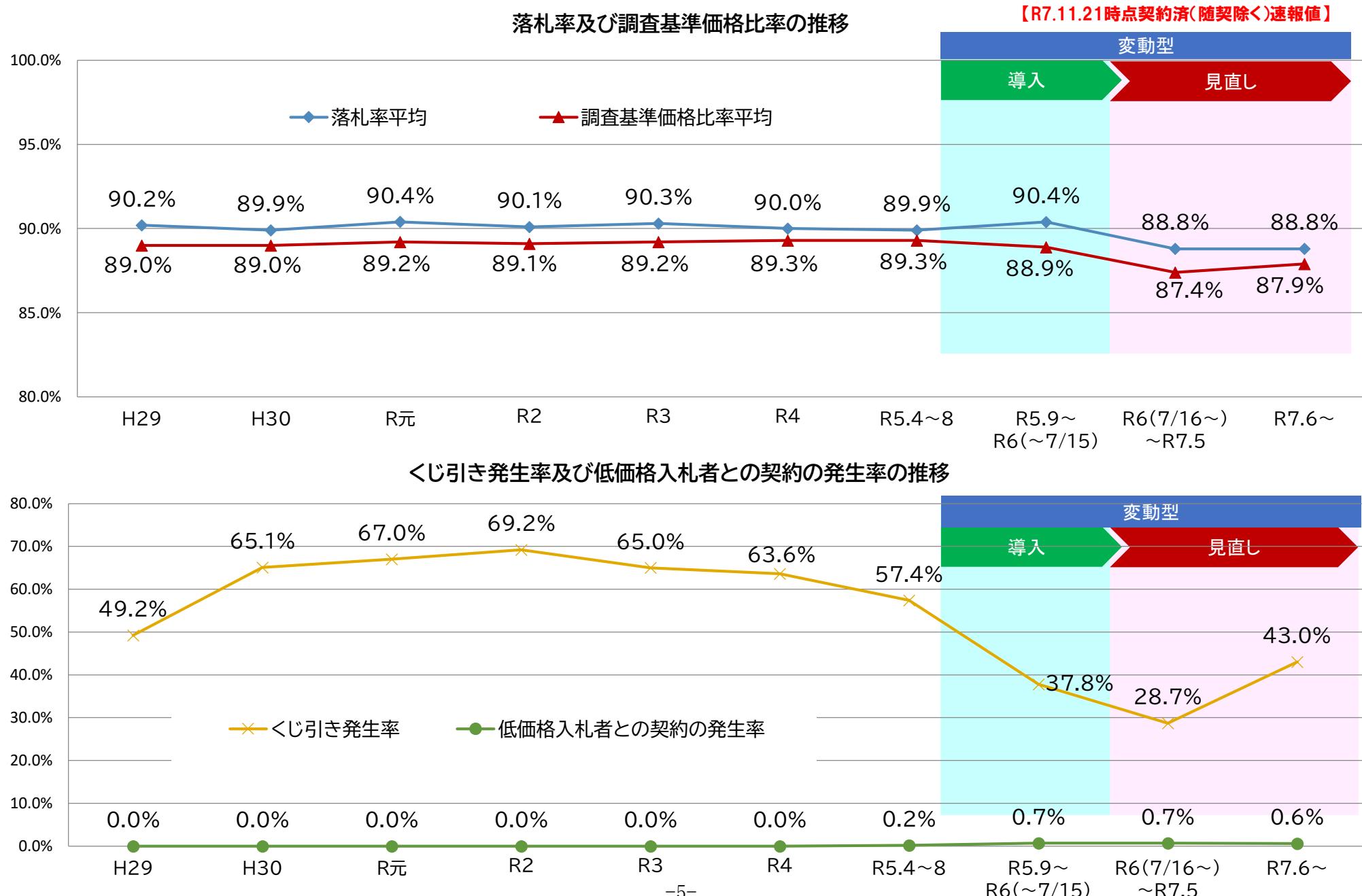
【 R6.7.16開札
～R7 下限値引上げ】
(745件/92.6%)
※82%未満1件(77.8%)

下限値の引上げ

【 R7 下限値引上げ～】
(526件/92.7%)



【コンサル】落札率等の推移(土木、農林発注分)



【コンサル】落札率分布の推移(土木、農林発注分)

